

環境対策に関する産学官連携
「公共建築物の低炭素化を目指す鹿児島プロジェクト」

1. 現状と課題

現在、かごしま環境未来館における環境対策の効果検証と運転支援について平成20年度から鹿児島市と鹿児島大学との間で共同研究が実施されている。この成果を受け、さらに新規環境技術の検証や新築及び既設の公共建築物への導入を図っていくが、行政の透明性確保を維持しながら多くの企業等の最新の技術を活用するための方法論と具体的方策が必要とされている。

2. 目的

地域行政、大学、企業そして地域の市民が一体となって、環境を強く意識しながら二酸化炭素排出の少ない省エネルギー型の暮らしを快適に行うことにある。

3. 目標

(1) 温室効果ガス排出削減

2050年での70%削減目標(1990年比)に向けて、本プロジェクトの成果を活用する。

(2) 多数の企業参画による環境技術提案

本プロジェクトに提案された多数の環境技術の実証試験・研究による「環境技術の活きた展示場 鹿児島」の実現

(3) 市民との協働

- 市民参画による新規技術導入の持続的進展
- プロジェクトが育成した人材の展開による波及効果
- 小中学校での環境技術導入事例を「生きた教材」とした環境技術の普及体験

4. 実施内容

- 枠組み1：鹿児島市・鹿児島大学との共同研究
 - 実証試験の基盤の構築
 - 企業技術情報の収集
 - 市所有施設の情報収集・統合と研究マッチング

- 枠組み2：鹿児島大学・企業間の共同研究（又は受託研究）
 - 個別の技術における共同実証
 - 新規環境技術の共同創出

5. 実施の効果及びメリット

- 鹿児島市
 - 大学の知見を踏まえた実証実験データの取得と蓄積及び活用が可能となり、将来の環境技術導入に必要な知見を得ることが可能となる。
 - 研究マッチング等の高度な技術マネジメントのノウハウの蓄積が可能となる。
- 鹿児島大学
 - ラボレベルを超えた実用に近い形態での実証実験データの取得と蓄積が可能となる。
 - 企業との連携機会の増加が期待できる。
- 企業
 - 大学の知見を踏まえた実証実験データの取得が可能となる。
 - 大学との連携機会の増加が期待できる。
 - プロジェクト参画による情報発信の高度化が期待できる。
- 市民
 - 新しい環境技術を日常の空間で体験することが可能となる。

6. スケジュール及び今後の展開

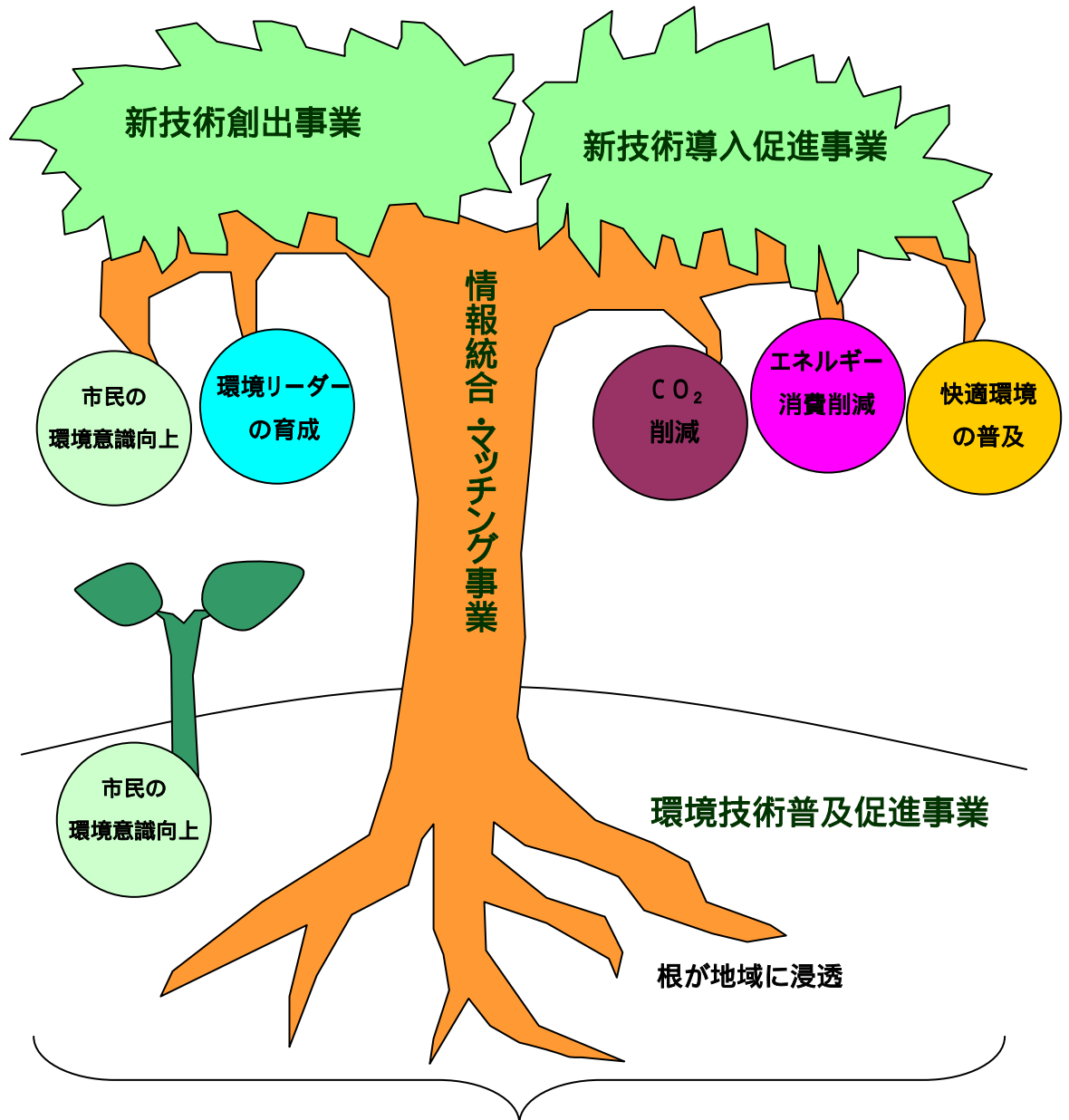
- 7月 : 公募
- 8月 : テーマ選定・実験開始

【参考資料】

- ・プロジェクトの概要、イメージ図（別紙）
- ・「公共建築物の低炭素化を目指す鹿児島プロジェクト」の開始について（別紙）

「公共建築物の低炭素化を目指す鹿児島プロジェクト」

活動 と 成果



持続可能な都市(鹿児島モデル)の創成

情報を統合し、施設、技術、研究者をマッチングさせ、環境技術の導入の促進を図ると共に新たな環境技術の創出も目指します。さらに、その成果を地域に深く浸透させる成果普及を行うこと、その成果普及が次の環境技術に繋がる苗床となることを1本の樹として描きました。

【プロジェクトの事業とその概要】

- 情報統合・マッチング : 市所有施設の公共建築物の情報、企業の技術情報等の
収集と提案技術への組み合わせ（マッチング）
- 新技術導入促進 : 公共建築物における民間企業等の提案技術の実証研究や
大学、企業の複数の提案技術を組み合わせたの実証試験
及び省エネルギー案の策定
- 新技術創出 : 鹿児島大学等の知見に基づく技術を核とした先端的環境
対策技術の開発及び実証
- 環境技術普及促進 : 環境技術の導入、普及促進に資する人材の実践的育成や
社会への情報周知